

長野市 浅川地区交流観光マップ



神社 Shrine

1 東条・石塚八幡社



慶長年間、若狭東条里田八幡宮の分身として奉遷された。祭神は、菅原朝命・皇長足姫命の二神を石塚山頂上に奉遷してある。神社から南東方に目をやれば近くは菅平、郷子岳や山田温泉スキー場、遠くは白根山、笠笠等々の山並みが目前に広がる。素晴らしい眺望、優れた心身がひととき癒される。祭日は3月の第4日曜と9月23日。

2 何去・何去神社



何去神社の祭神は猿田彦命である。江戸時代に諏訪社・山の神・社宮司社を現在地に合祀して社宮神社とした。明治初期に何去神社と改称した。石段は近隣の長く、鳥居の上下を合わせて192段ある。石段の清掃は小学生が行っている。祭事には、延年祭・新年祭・春祭・御土祭(茅の輪くくり)・秋祭・新嘗祭(現在中止)がある。

3 真光寺・白山神社



祭神は、奇理媛命である。明治6年当時の古来の口伝によると、当時この地は霊場であり、ここを守るために天台真光寺が寺務をし白山の御神(白山比咩神)の伽藍を守護神として妙理大神視と称した。明治政府の神仏分離令により権理の名称を廃し白山神社となる。平成10年真光寺宮地より現在地に移転する。神社西に弘化4年(1847)の真光寺大地震により当時寺額だった真光寺木がほぼ全滅したが、その再興に尽力した代官高木清左衛門の恩徳を記念し高木大神として小祠を祀る。(左写真)

4 清水・白山神社



浅川清水白山神社は、集落の入口にあり、市道浅川霊園線の小高い所に位置している。祭神は、奇理媛命である。白山は富士山などと共におい山岳信仰の山で、白山の霊を祭った社であった。多くは江戸中期から参拝者によって築かれたものといわれている。 ※「ふるさと浅川」(浅川地区市制100周年記念事業実行委員会編)から一部引用。

5 台ヶ窪・諏訪社



台ヶ窪諏訪社は、地区入口の北方向に建立。我々氏子を祭に見守り、その安泰を守っていたといわれている。この神社は、善光寺如来堂が落成した寛文6年から12年後の延宝6年(1678)ごろ、江戸時代初期に創立されたとはいえられ、その後安政3年(1856)に再建されたと記録されている。

6 ミツツ出・八幡神社



ミツツ出地区神社は、大字北郷地区内に諏訪社が多い中、八幡社である。現在の社殿は、昭和37年に建て替えられた。旧神社の建物の影影は、現社殿に少し残しながら建物のまわりの、毎年、春・秋に祭典を行い、地区民衆で先祖からの社殿を守っている。

7 北郷・朝川原神社



諏訪大神と飯綱大神の両社を合祀する。朝川原神社は、長野市重要文化財に指定されている。本殿、拝殿の二棟は、慶安元年(1648)の大火により焼失後建てられたものが、備わるといわれる江戸時代後期から明治時代に再建された。正面廣西の龍、扉扉の欄間の十二支の彫刻は、新潟県西頸城郡名立町出町の大宮、江崎長三郎と同一門の作で、明治20年頃に2年間かけて彫つたものである。

8 中曽根・諏訪社



諏訪明神を産土神として祀り、200年前頃に地に鎮座される。現社殿は明治33年の建て直し、向拝や欄間の彫刻は見事である。大正13年祝詞殿と石段が整えられ、昭和14年玉掛が奉納、平成23年始末の奉納もあつた。参道の杉木立の見事さといわれている。

9 門沢・諏訪社



門沢諏訪社は、市道門沢中曽根線沿いの地域を見せるところにある。境内にある如意輪観音は、元禄2年8月建立。これより13年前、延宝2年(1674)の凶作飢饉によって何人か犠牲になり、13回忌を建立したといわれる。谷の対岸の山中に見える秋葉神社【下写真】→火の神様→の建物は、地区一番の古い家の遺構によると文禄年間(1592～1596ごろ)と書いてあるが確かではない。ある時代に境内で火災が発生し、そこに白い土が来り火が消えた。その土が置かれた所に神社を祀つたという。

10 畑山・諏訪社



畑山諏訪社は、山の山の上に小さな集落内(昔は26戸程、現在12戸程)にある。諏訪社の祭日も五反のほりをあけ、盛大な祭りであったといわれている。現在は過疎化が進み、昔を知る人も数少なくなっている。4月と10月には、何百年も経つ杉の太木で囲まれた宮前に吹き流しをたて参拝し・祭りをする。

11 坂中・諏訪社



坂中神社は、北郷街道の脇に建て、幸礼・柏宮方面と善光寺方面を最短距離で結びながら、急勾配急カーブが続き難所といわれる坂中峠を有する坂中地区の産土神として鎮座している。祭神は信濃国一宮である諏訪社の本社と同じ諏訪明神である。4月と9月の春秋・秋祭りには、古からの祭日である22日に近い土曜日にあつた。

12 福岡・飯縄神社



飯縄神社は、浅川福地地区中心から北の方角へ細い参道を約300メートルと進んだ小高い山の上に、延宝7年(1679)に創建されたといわれる本殿が鎮座している。地区の氏子14戸で春秋・秋祭・感謝祭の祭事、神籠の祝詞により神の恵みと祖先の恵に感謝し、長子等の健康と幸福を祈願し行われる。

13 押田・八幡社



八幡神社の総本山は、大分県宇布市の宇佐神社で、直隸の神として崇められている。押田八幡神社も同様で、八幡宮と呼ばれる八幡神社の数は全国に2万社あり、稲荷神社に次ぐ。昭和20年代、裏山の地帯りによって八幡社の社殿は壊滅したが、押田地区民を無事に守りつらした。現在の社殿は小さく、地区が寄せる敬愛の念は大いである。

14 西平・伊勢社



西平の伊勢社は、730年頃宇日影形地蔵(現在の霊園)の清水観音の36坊より勧請された。川中島合戦の兵火にあい焼失し、その後再建され今に至っている。天照大神が祀られており、春秋の祭典・新嘗祭・2年参り等区民に崇拝されている。地区はもとより、小布施町から千曲市まで一望できる大空眺めの良い所にある。

15 浅川園地・神楽橋・浅川神社



祭神は建部名方命で、昭和52年4月に創建され、延宝25年7月に改築された。地域の心の拠り所と子供たちの思い出の地として園地住民(神楽橋のあずま屋)大勢の賛同を得て建立。旧地が大字西条であったので、西条諏訪社より分神を受け現在浅川園地と神楽橋の橋頭で奉祀している。秋祭には、神楽・花火・子供神輿の約100名、延年祭には500名程が参拝される。

16 西条・諏訪社



浅川西条の諏訪神社の本殿は、室町時代中期(1450年頃)に建築された長野市方面の木造建築物として、平成5年長野市指定有形文化財に指定された。本殿(安政2年(1855)再建)は拝殿裏の壁障の中に入り、祭神は建部名方命をお祀りしている。向拝部の軒梁下の「楳の美」の墨書は真下唯一といわれている。

17 八幡神社(ブランド菓師)



浅川ループ橋から見上げると、山麓の岩場に八幡神社(ブランド菓師)が見える。古い歴史と伝統があり、浅川北郷5地区の住民の手で守られている。毎年春と秋の祭りに合わせ、参道の整備、草刈り等が行われている。また神社は、東道より約30分の山登りをつた所にあり、小学校の遠足、家族での参拝等親しまれている。

史跡・名勝・観光地

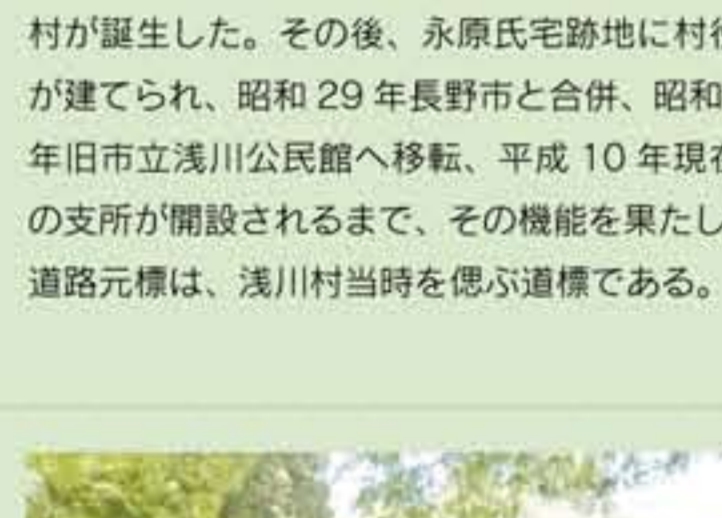
Historic relics・Scenic spot・Tourist resort



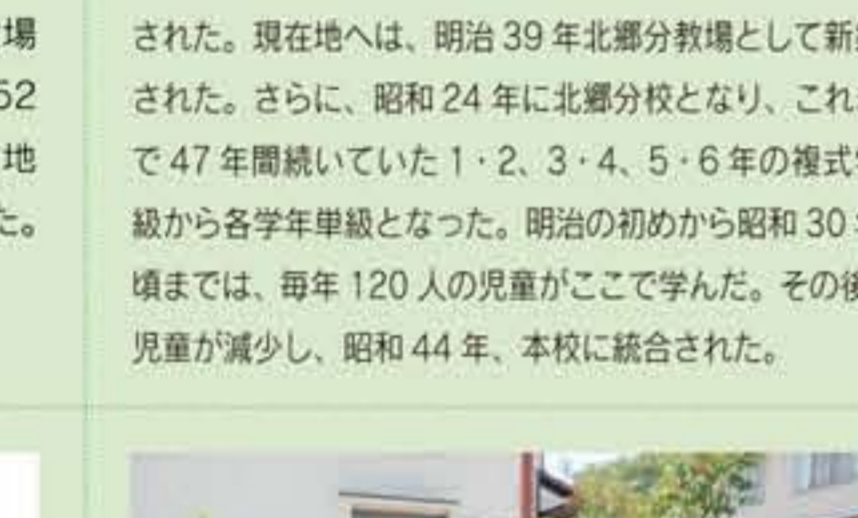
1 浅川村役場跡・浅川村道路元標



2 浅川小学校北郷分校跡



3 浅川小学校畑山分室跡



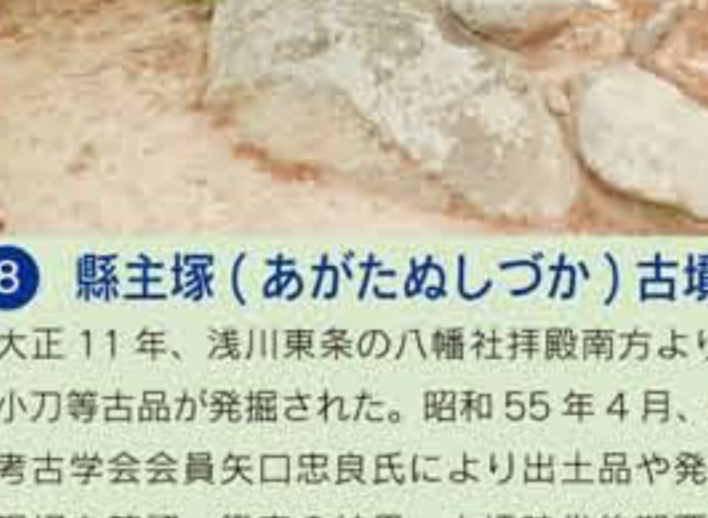
4 浅川小学校跡



6 浅川尋常高等小学校跡



7 籠塚(こもりづか)古墳



8 藤主塚(あがためづか)古墳



9 親ヶ峰古墳



11 北郷古城跡



12 北郷本城跡



13 三人地藏



14 知恩塚



15 大日堂(だいにちどう)



16 蛭神(かいこがみ)



17 庚申(こうしん)塔



18 南命山長佛寺



19 石油井戸跡(浅川油田ポンプ)



20 やすらぎ森林公園



21 浅川展望台



22 飯綱炭工房



23 緑ヶ丘公園



24 坂中農産物直売所



25 中曽根農産物直売所



26 浅川観音



27 清水観音



28 逆谷地(さかさやち)湿原



29 スパイラル



30 鏡田(よるいだ)



31 白岩(しらいわ)



32 長野県環境保全研究所飯綱庁舎

浅川地区住民自治協議会

お問い合わせは
浅川地区住民自治協議会
〒381-0064 長野市浅川東条 328-1
TEL / FAX 026-244-5165
E-mail: asakawa-jij@rice.ocn.ne.jp



長野市浅川地区へのアクセスは

電車 (JR) 利用の場合	浅川地区
東京	約30分
新大井	約30分
金沢	約30分
新潟	約30分

自動車をご利用の場合	浅川地区
東上自動車道	約40分
中央自動車道	約40分
信濃自動車道	約40分